

KENWOOD

タッチパネル7インチワイドTV

fz-7000

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

Functional Operation

Monitor Control Function

Setup Function

Audio Control Function

Source Control Function

Appendices



3 安全上のご注意

5 使用上のご注意

6 Monitor Control Function

- モニターパネルのボタン操作 6
- TV映像時のタッチパネル操作 9
- モニターアングルの設定/画質の調整 10

12 Setup Function

- システムの設定 12
- 時計の調整 15
- タッチパネルの調整 16

17 Audio Control Function

- オーディオの設定 17
- DSPコントロール 19

22 Source Control Function

- ソースセレクト画面の操作 22
- ソースコントロール画面の共通操作 23
- 交通情報コントロール 23
- TVチューナーコントロール 24
- FM/AMチューナーコントロール 26
- CDプレーヤーコントロール 28
- MDプレーヤーコントロール 30
- テーププレーヤーコントロール 32
- ディスクチェンジャーコントロール 34
- ネームセット 37

38 Appendices

- 故障かな?と思ったら 38
- 保証とアフターサービス 39
- 仕様一覧

本取扱説明書の操作画面は説明用に作成したものです。実際の画面と異なります。

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

Ⓢ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（続き）

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



実施

前方不注意による交通事故などを防ぐため、ナビゲーション画面やバックカメラの映像を注視する時間は、必要最小限としてください。

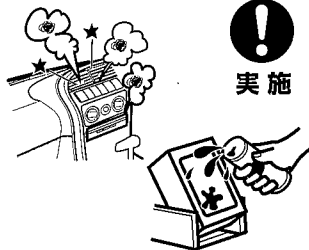
また、以下のような行為をするときは、必ず安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- テレビやビデオを見る
- 登録や各設定などの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



実施

修理は《お買い上げの販売店》、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

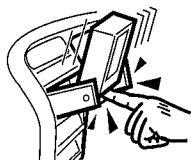
製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



実施

本製品を車載用以外の用途で使用しないでください。

注意



注意

モニターの開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてけがをすることがあります。



実施

液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。

使用上のご注意

■ 安全走行のために

走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

■ 本機からタッチコントロールできるDVDナビゲーションユニット

本機のタッチパネルで操作できるDVDナビゲーションユニットは下記の通りです。(2001年5月現在)

DVZ-2300i、DVZ-2200、DVZ-2201、DVZ-2000

■ 本機からタッチコントロールできるオーディオユニット

本機のタッチパネルで操作できるオーディオユニットは下記の通りです。(2001年5月現在)

MZ-BUSセンターユニット:

MZ929、M929、Z929、MJ919、MZ919、M919、Z919、A707、MJ909、MZ909、MZ907、M909、M707、Z909、Z707

MZ-BUSスレーブユニット:

D929、D919、D909、X909、D707、X707、C929、C919、C910、C710、C906、C706、P707

※タッチコントロールによるオーディオユニットの操作はBUSケーブルで接続できる機種に対して行えます。

※スレーブユニットを接続する場合は、センターユニットの接続も必要です。

※MX-BUSシステム(M505、Z505、D505、X505、C510、C506、MD56)に接続している場合は、使用できる機能が制限されます。(接続には、BUS変換ボックス“CA-57ZX”が必要です。)

■ バッテリー上がりを防ぐため

エンジンをかけないで、ACC ONの位置にして本機を使用しますと、バッテリーが消耗し、バッテリー上がりの原因になります。エンジンをかけてご使用ください。

■ モニターの保管とお手入れ

- モニターをオープンした状態で、高温の場所に放置しないでください。
- 本機が汚れたときは、シリコンクロスや、やわらかい布でから拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷がついたり、塗装面が剥げたり、文字が消える場合があります。

■ 低温時の画面の明るさについて

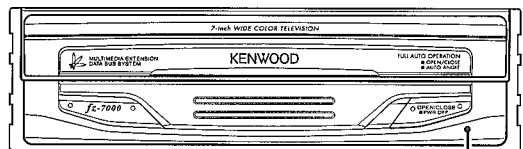
冬季など本機の温度が下がっている場合、液晶パネルの性質上通常より暗くなります。本機の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

■ リセットボタンについて

- 取り付け直後やバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押ししてください。

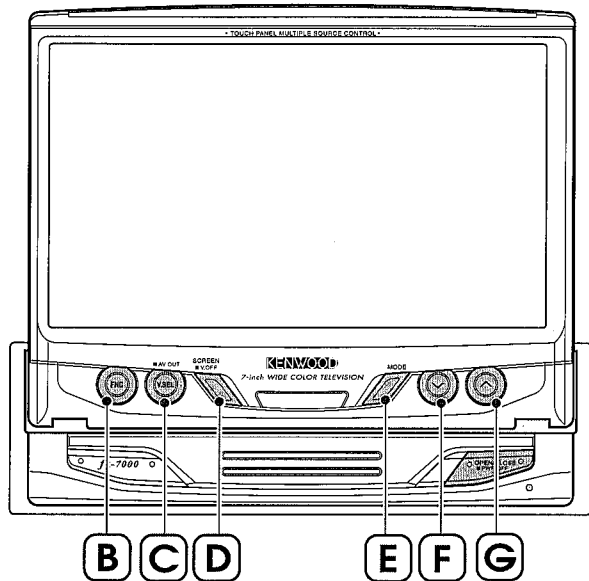
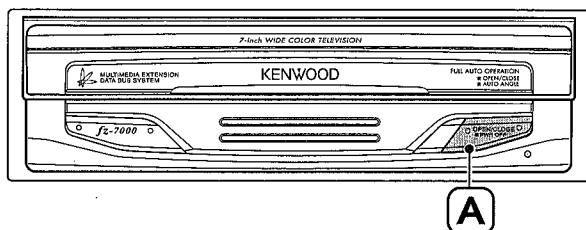
- ご使用中にセットの異常にお気づきのときは、リセットボタンを押しください。

それでも正常な状態に戻らないときは、そのままの状態でお買い上げの販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。



リセットボタン

モニターパネルのボタン操作



電源のオフ

本機の電源をオフにします。



電源がオフになるまで押し続けます。

電源をオンするときは・・・



押すと電源がオンになります。

映像の切り替え

モニターの映像を選びます。



押すたびにモニターの映像が以下のように切り替わります。

【通常の映像切り替え】

【カメラ入力モードを「VD」に設定している場合】

テレビまたはビデオ1 (AV IN 端子)

テレビまたはビデオ1 (AV IN 端子)

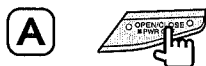
ナビゲーション

ナビゲーション

ビデオ2 (VIDEO 2 IN 端子)

モニターのオープン/クローズ

モニターを出したり収納したりします。



■モニターがクローズしているときに押すと、オープンします。

■モニターがオープンしているときに押すと、クローズします。

- パーキングブレーキを引かないと、モニターはオープン/クローズしません。
- モニターがオープンする際に、シフトレバーなどにモニターが干渉する場合があります。その場合は、安全に注意してシフトレバーを動かすなどして本機を操作してください。(障害物に当たりモニターが正常にオープンできない場合、保護機能が働きモニターは自動的にクローズします。)
- 手で無理にモニターを引き出したり、押し込んだりしないでください。故障の原因になります。

音量の調整

スピーカーの音量を調整します。



押すたびに音量が大きくなります。



押すたびに音量が小さくなります。

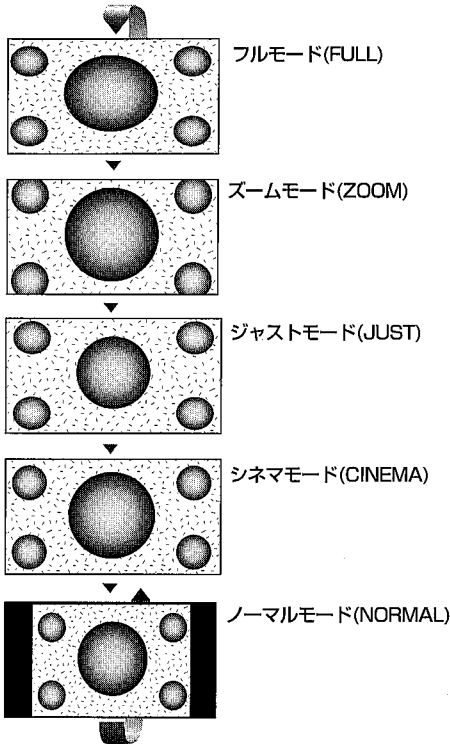
- A707やBUSセンターユニットを接続していない場合は、内蔵スピーカーの音量調整になります。
- A707やBUSセンターユニットを接続している場合は、オーディオシステムの音量調整になります。内蔵スピーカーの音量調整はシステム設定画面で行ってください。【12ページ「内蔵スピーカーの音量設定」】

画面モードの切り替え

テレビやビデオの画面モードを切り替えます。



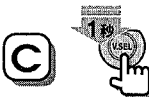
押すたびに、モニターの画面モードが以下のように切り替わります。



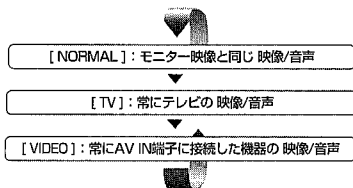
● インターフェース端子接続のナビゲーション映像や本機のコントロール画面などを表示している時は操作できません。

AV出力モードの切り替え

AV出力端子の映像/音声やFMトランスミッターの音声モードを切り替えます。



1秒以上押すたびにAV出力モードが以下のように切り替わります。



● インターフェース端子に接続しているナビゲーションユニットの映像や音声は出力されません。

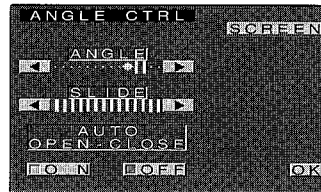
アングル/スクリーンコントロール画面の表示

モニターの位置や画質を調整する画面を表示します。

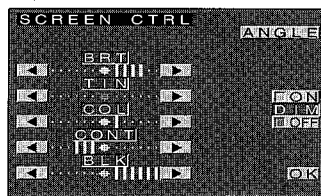


押すとアングルコントロールまたはスクリーンコントロール画面が映像上に表示されます。

アングルコントロール画面



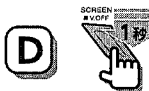
スクリーンコントロール画面



● 画面の操作は【← 10~11ページ】をご覧ください。

映像のオフ

モニターの映像を一時的に消します。



映像が消えるまで押し続けます。

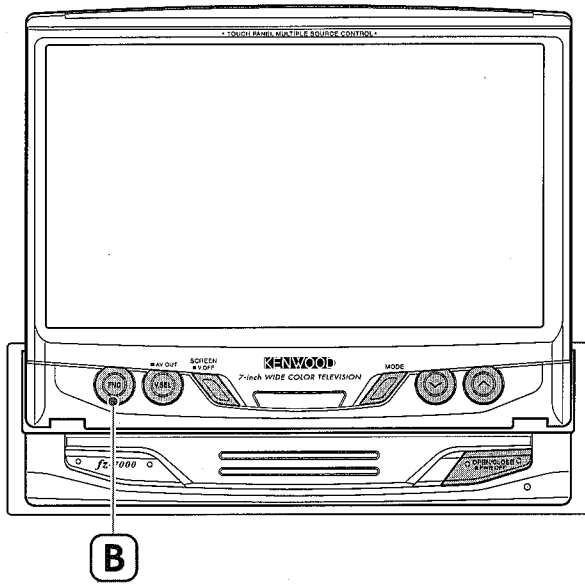
映像オフを解除するときは・・・



押すと映像オフが解除されます。

● モニターパネルのMODE、FNC、V.SELボタンのいずれかを押しても、映像オフは解除されません。

モニターパネルのボタン操作（続き）



システム設定画面やソースコントロール画面の表示

本機のシステム設定画面やオーディオソースをコントロール画面を表示します。



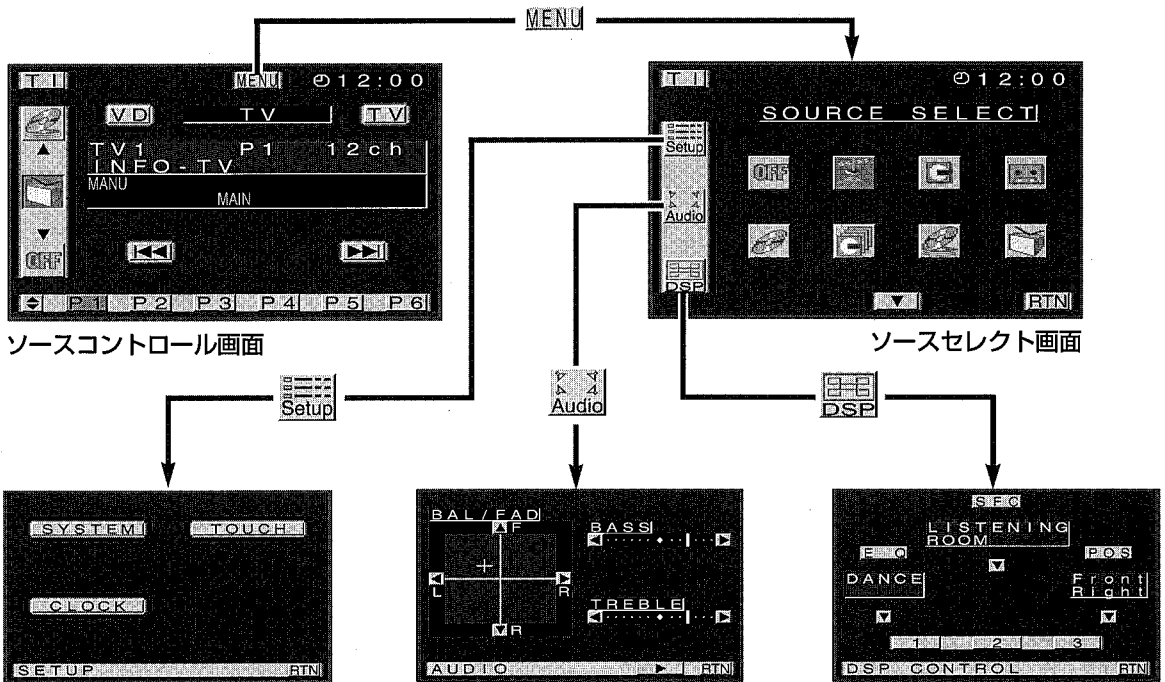
押すとソースコントロール画面が表示されます。下図のように画面のキーにタッチすると各種画面に切り替わります。

オーディオコントロール画面の背景切り替え

オーディオコントロール画面の背景表示を5種類の中から選択します。



押すたびに画面の背景パターンが切り替わります。



- セットアップメニュー画面**
- システムの設定：● 12～14ページ
 - 時計の調整：● 15ページ
 - タッチパネルの調整：● 16ページ

- オーディオ設定画面**
- 17～18ページ

- DSPコントロール画面**
- 19～21ページ

- [Audio] はA707やBUSセンターユニットを接続している場合に表示されます。なお、“ALL OFF”モード選択時は操作できません。
- [DSP] はDSPユニットを接続している場合に表示されます。

TV映像時のタッチパネル操作

TVプリセットバンド切り替え

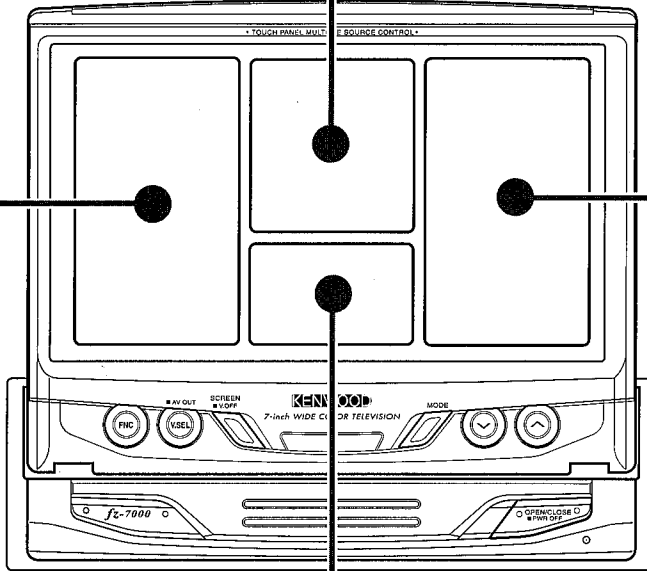
スクリーンの中央上部分にタッチするとTVプリセットバンドがTV1とTV2に切り替わります。

チャンネルダウン

スクリーンの左部分にタッチするとチャンネルが下がります。

チャンネルアップ

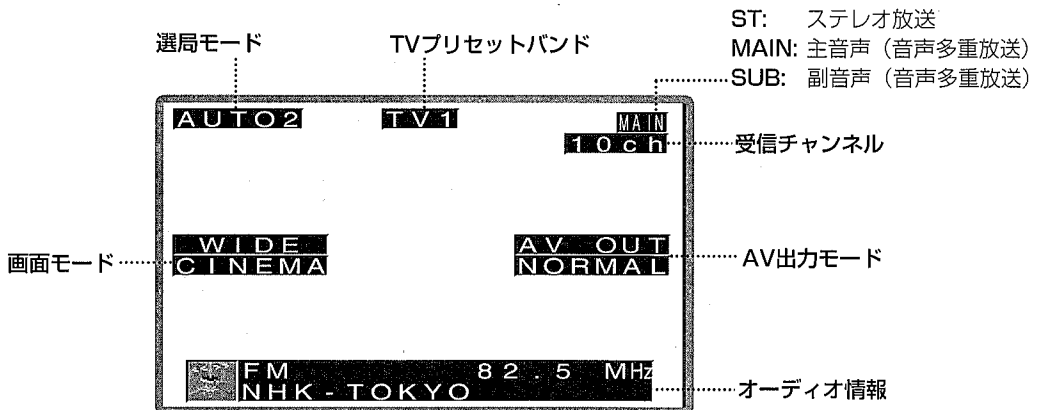
スクリーンの右部分にタッチするとチャンネルが上がります。



● チャンネルのアップ/ダウン操作はTVチューナーコントロール画面の選局モードの設定により動作が異なります。
【▶ 25ページ「選局モードの設定」】


オンスクリーン表示

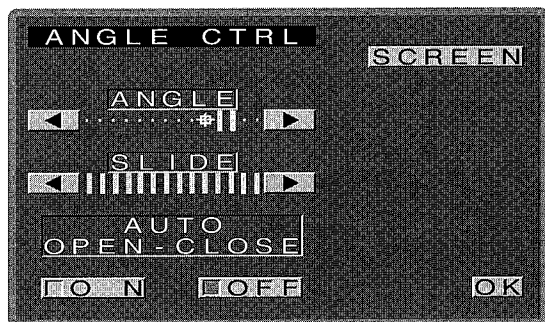
スクリーンの中央下部分（ビデオ画面時はどの部分でも）にタッチすると、現在のオーディオソースや映像の状況などを一時的に映像に重ねて表示します。もう一度タッチすると表示が解除されます。



モニターアングルの設定 / 画質の調整

▶アングルコントロール/スクリーンコントロール画面の表示

モニターパネルの  ボタンを押します。【●7ページ】

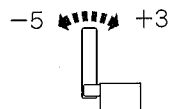


アングルコントロール画面

モニターの傾斜角度設定 [ANGLE]

モニターを見やすい角度に設定します。

タッチするたびに   タッチするたびに前方に傾きます。 後方に傾きます。

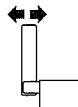


- 角度は-5から+3まで9ポジションで調整できます。モニターがオープンすると設定した角度で止まります。お買い上げ時の設定はセンター位置(0)です。

モニターのスライド位置設定 [SLIDE]

モニターがオープンしたときの停止位置を設定します。

タッチすると後に   タッチすると前にスライドします。 スライドします。



- 位置の設定は2ポジションです。モニターがオープンすると設定した位置で止まります。

オートオープン/クローズの設定 [AUTO OPEN-CLOSE]

イグニッションキーに連動してモニターのオープン/クローズを自動的に行います。

<input type="checkbox"/> ON	オートモードの設定になります。車両のイグニッションキー (ACC) のオン/オフに連動してモニターが自動的にオープン/クローズします。
<input type="checkbox"/> OFF (初期設定)	マニュアルモードの設定になります。モニターのオープン/クローズは OPEN/CLOSE ボタンを操作して行います。

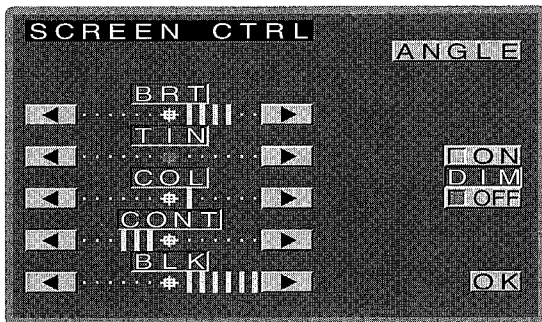
スクリーンコントロール画面への切り替え

SCREEN タッチするとスクリーンコントロール画面に切り替わります。

コントロール画面の終了

OK タッチするとコントロール画面が終了します。

- モニターパネルのSCREEN、MODE、V.SELボタンのいずれかを押してもコントロール画面は終了します。
- アングルコントロール画面が表示されているときは、アングルコントロール画面の操作以外のタッチパネル操作はできません。



スクリーンコントロール画面

明るさの調整 [BRT]

画面の明るさを調整します。

タッチするたびに タッチするたびに
映像が暗くなります。 映像が明るくなります。

色合いの調整 [TIN]

画面の肌色を調整します。

タッチするたびに タッチするたびに
映像の赤色が強く 映像の緑色が強く
なります。 なります。

色の濃さ調整 [COL]

画面の色の濃さを調整します。

タッチするたびに タッチするたびに
映像の色が薄くなり 映像の色が濃くなり
ます。 ます。

コントラストの調整 [CONT]

画面のメリハリを調整します。

タッチするたびに タッチするたびに
映像のメリハリが 映像のメリハリが
弱くなります。 強くなります。

黒レベルの調整 [BLK]

映像が見る角度により明暗が反転したり、白っぽくなったりする
場合に調整します。

タッチするたびに タッチするたびに
映像の黒色が強く 映像の黒色が弱く
なります。 なります。

- 調整した画質の設定は各画面ごとに、昼/夜画面別にメモリーできます。
- インターフェース端子接続のナビゲーション画面やオーディオコントロールなどのグラフィック画面ではCOL (色の濃さ)、TIN (色合い) の調整はできません。

夜画面の設定 [DIM]

車両のイルミネーションスイッチに連動させて、モニター画面の画質をかえます。

ON	ディマー機能がオンになります。 車両のライトスイッチのオン/オフに連動して、夜画面で設定した画質に切り替えます。
OFF	ディマー機能がオフになります。 昼画面の画質設定になります。

- 夜画面の画質を調整するときは、『ON』に設定して、車両のライトをオンにしてください。

アングルコントロール画面への切り替え

ANGLE タッチするとアングルコントロール画面に切り替わります。

コントロール画面の終了

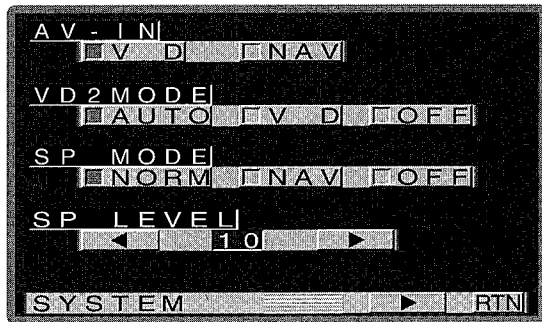
OK タッチするとコントロール画面が終了します。

- モニターパネルのSCREEN、MODE、V.SELボタンいずれかを押してもコントロール画面は終了します。
- スクリーンコントロール画面が表示されているときは、スクリーンコントロール画面の以外のタッチパネル操作はできません。

システムの設定

▶ システム設定画面の表示

セットアップメニュー画面の **SYSTEM** にタッチします。【← 8ページ】



システム設定画面-1

AV入力モードの設定 [AV-IN]

AV入力(AV-IN)端子に接続する機器に合わせた入力モードを設定します。

VD (初期設定)	ビデオモードの設定になります。 AV入力端子にビデオデッキなどを接続するとき。
NAV	ナビゲーションモードの設定になります。 AV入力端子にナビゲーションユニットを接続するとき。

- AV IN端子に、ナビゲーションシステムを接続している場合は『NAV』の設定にしてください。
- インターフェイス端子に、ナビゲーションシステムを接続している場合は『VD』の設定にしてください。

カメラ入力モードの設定 [VD2 MODE]

カメラ映像入力(VIDEO 2 IN)端子に接続した機器に合わせた入力モード設定をします。

AUTO (初期設定)	バックカメラモードの設定になります。 リバース信号が入力されると、モニターの映像がカメラ映像入力端子の映像に切り替わります。
VD	ビデオモードの設定になります。 V.SELボタンでモニターの映像を切り替えたときに、カメラ映像入力端子の映像が追加されます。
OFF	オフモードの設定になります。 カメラ映像入力端子に何も接続しないとき。

内蔵スピーカーモードの設定 [SP MODE]

内蔵スピーカーの音声モードを設定をします。

NORM (初期設定)	ノーマルモードの設定になります。 モニターの映像と同じ音声を出力します。
NAV	ナビゲーションモードの設定になります。 モニターの映像とは関係なく、常にナビゲーションの音声を出力します。
OFF	オフモードの設定になります。 内蔵スピーカーをオフにします。

内蔵スピーカー音量の設定 [SP LEVEL]

内蔵スピーカーの音量レベルを設定をします。

タッチするたびに タッチするたびに
音量レベルが小さく 音量レベルが大き
くなります。 くなります。

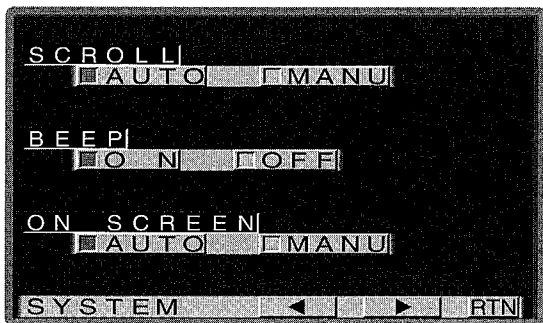
- 初期はレベルが『20』に設定されています。
- 内蔵スピーカーモードの設定を『OFF』に設定している場合は表示されません。

システム設定画面-2への切り替え

画面右下の にタッチするとシステム設定画面-2に切り替わります。

システム設定画面の終了

RTN タッチするとセットアップメニュー画面に戻ります。



システム設定画面-2

スクロールモードの設定 [SCROLL]

<input checked="" type="checkbox"/> AUTO (初期設定)	オートモードの設定になります。 CDやMDのテキスト/タイトルを自動的に繰り返しスクロール表示します。
<input type="checkbox"/> MANU	マニュアルモードの設定になります。 CDやMDのテキスト/タイトルをオーディオコントロール画面の SCROLL で、必要なときにスクロール表示できます。


ビープ音の設定 [BEEP]

<input checked="" type="checkbox"/> ON (初期設定)	ビープ音機能がオンになります。 本機やセンターユニット操作時に確認音 (ビープ音) が鳴ります。
<input type="checkbox"/> OFF	ビープ音機能がオフになります。 本機やセンターユニット操作時の確認音 (ビープ音) は鳴りません。


オンスクリーンモードの設定 [ON SCREEN]

<input checked="" type="checkbox"/> AUTO (初期設定)	オートモードの設定になります。 センターユニットのボタンを操作したときやディスクの曲が切り替わったときなどに、オーディオソースの状況を一時的に映像に重ねて表示します。
<input type="checkbox"/> MANU	マニュアルモードの設定になります。 テレビ映像時にスクリーン中央下部分 (ビデオ映像時は任意の場所) にタッチすると、オーディオソースの状況を一時的に映像に重ねて表示します。 【▶ 9ページ 「TV映像時のタッチパネル操作」】

システム設定画面-3への切り替え

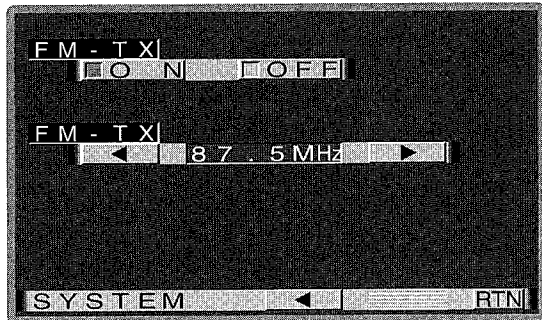
画面右下の  にタッチするとシステム設定画面-3に切り替わります。

システム設定画面-1への切り替え

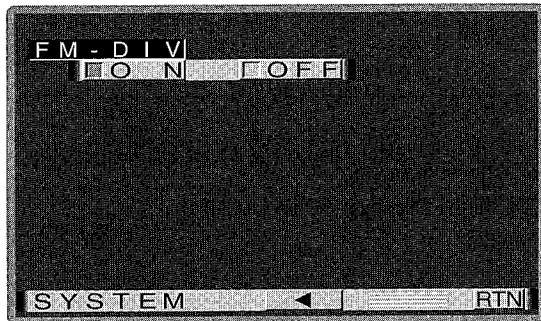
画面右下の  にタッチするとシステム設定画面-1に戻ります。

システム設定画面の終了

RTN タッチするとセットアップメニュー画面に戻ります。



システム設定画面-3
(A707/BUSセンターユニット未接続時)



システム設定画面-3
(A707/BUS(MZ-BUS)センターユニット接続時)

FMトランスミッターの設定 [FM-TX]

内蔵のFMトランスミッターを使用して、カーFMラジオからテレビやビデオなどの音声を聴くことができます。

<input checked="" type="checkbox"/> ON	FMトランスミッター機能がオンになります。
<input type="checkbox"/> OFF (初期設定)	FMトランスミッター機能がオフになります。

タッチするたびに タッチするたびに
周波数が低くなり 周波数が高くなります。

- A707やセンターユニットに接続している場合は、FMトランスミッターの設定は表示されません。
- 送信周波数は87.5~89.9 MHzの範囲で0.1MHzずつ調整できます。
- 設定した周波数によっては、4chの映像にノイズが入る場合があります。
- 地域のFM放送局が混信するときは、周波数を変更してください。(VICS局に混信すると、VICS情報が正しく受信できないことがあります。)
- カーFMラジオのオート選局では設定した周波数で止まらない場合があります。このような時はマニュアル選局で周波数を合わせてください。
- FMトランスミッターの音声は車両のアンテナ位置などにより聞き取りにくい場合があります。
- FMトランスミッターの音声はモノラル音声になります。

FMトランスミッター機能を使用してTV音声などをカーFMラジオから聴く場合は、オーディオセレクト画面で、聴きたいソースマークを選択してください。ソースマークを選択しないとFMトランスミッターから音声は出力されません。
【▶ 22ページ「オーディオソースの選択」】

FMダイバシティの設定 [FM-DIV]

A707やセンターユニットのFMアンテナをダイバシティ接続している場合に、設定します。

<input checked="" type="checkbox"/> ON	FMダイバシティ機能がオンになります。
<input type="checkbox"/> OFF	FMダイバシティ機能がオフになります。

- A707やMZ-BUSセンターユニットを接続している場合に表示されます。
- ダイバシティ接続をしていない場合は『OFF』に設定してください。『ON』設定していると、FM放送の音声に切替ノイズが入る場合があります。

システム設定画面-2への切り替え

画面右下の にタッチするとシステム設定画面-2に戻ります。

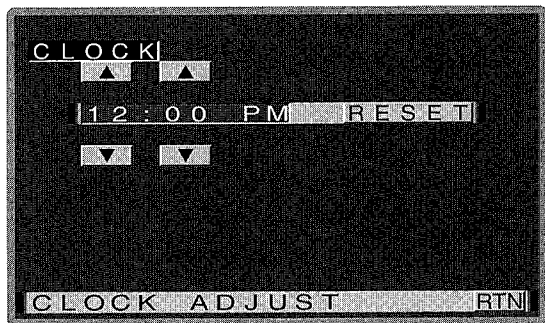
システム設定画面の終了

RTN タッチするとセットアップメニュー画面に戻ります。

時計の調整

▶ 時計調整画面の表示

セットアップメニュー画面の **CLOCK** にタッチします。【● 8ページ】



時計調整画面

時計の調整

時刻を合わせます。

タッチするたび **▲** **▲** タッチするたび
“時”が進みます。 “分”が進みます。

12:00 PM

タッチするたび **▼** **▼** タッチするたび
“時”が戻ります。 “分”が戻ります。

“分”を“00”にする

RESET タッチすると“分”が“00”になります。

● “分”が30分以上の場合は、下記のように時間がくり上がった“00”分になります。

例

- 1:00PM ~ 1:29PM → 1:00PM
- 1:30PM ~ 1:59PM → 2:00PM

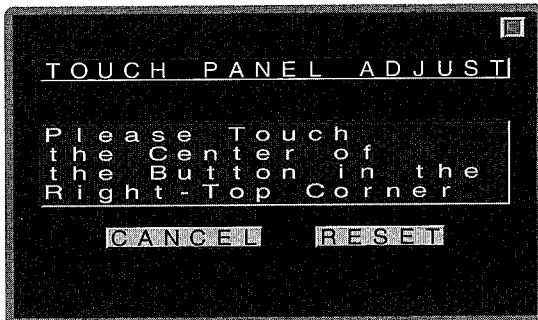
時計調整画面の終了

RTN タッチすると時間調整を終了して、セットアップメニュー画面に戻ります。

タッチパネルの調整

▶ タッチパネル調整画面の表示

セットアップメニュー画面の **TOUCH** にタッチします。【← 8ページ】




タッチパネル調整画面


タッチパネルの調整

タッチパネル調整は、タッチした場所と実際の動作が正しく合わない場合に補正する機能です。

1 右上のマークにタッチします

最初に表示される右上の  マークを正確にタッチしてください。

2 左下のマークにタッチします


次に表示される左下の  マークを正確にタッチしてください。

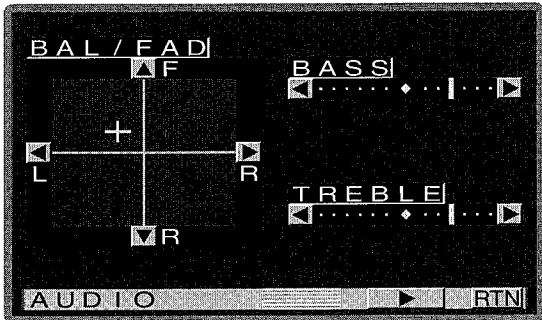
左下のマークをタッチした時点で調整が終了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

- 右上のボタンにタッチしないで **CANCEL** にタッチした場合は何も補正しないで調整画面に切り替える前の画面に戻ります。
- 右上のボタンにタッチした後に **CANCEL** へタッチすると、右上のボタンが再度表示されます。
- **RESET** にタッチすると、お買い上げ時の設定になり、セットアップメニュー画面に戻ります。

オーディオの設定

▶ オーディオ設定画面の表示

ソースセレクト画面の  にタッチします。【← 8ページ】



オーディオ設定画面-1

バランス/フェダーの調整 [BAL/FAD]

タッチするたびにバランスが左寄りになります。



タッチするたびにバランスが右寄りになります。

タッチするたびにフェダーが前寄りになります。



タッチするたびにフェダーが後寄りになります。

● DSPユニットを接続している場合は、DSP効果を正しく得るため、バランス/フェダーはセンターに設定してください。

低音の調整 [BASS]

タッチするたびに低音域のレベルが小さくなります。



タッチするたびに低音域のレベルが大きくなります。

高音の調整 [TREBLE]

タッチするたびに高音域のレベルが小さくなります。




タッチするたびに高音域のレベルが大きくなります。

● DSPユニットを接続している場合は、表示が "NF-BAS" / "NF-TRE" となり、ノンフェーディング出力の音質調整になります。フロント/リア出力の音質調整はイコライザーコントロール画面で調整してください。

【← 21ページ】

● 「プリアウトの設定」で「REAR」を選択している場合は、「NF-BAS」 / 「NF-TRE」の設定は表示はされません。【← 18ページ】

オーディオ設定画面-2への切り替え

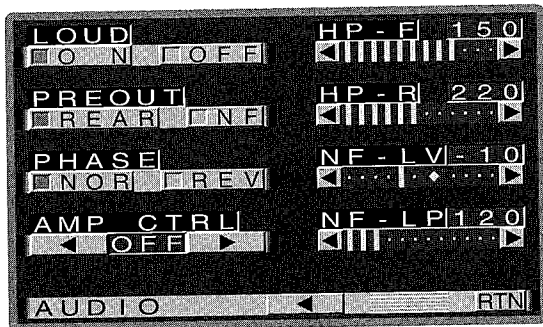
画面右下の  にタッチするとオーディオ設定画面-2に切り替わります。

オーディオ設定画面の終了

RTN タッチするとソースセレクト画面に戻ります。

オーディオ設定画面に表示されない項目はセンターユニットで調整/設定してください。

オーディオの設定 (続き)



オーディオ設定画面-2

ラウドネスの設定 [LOUD]

<input checked="" type="checkbox"/> ON	ラウドネス機能がオンになります。低音と高音が強調されます。
<input type="checkbox"/> OFF	ラウドネス機能がオフになります。

- 「ON」に設定している場合は、ソースコントロール画面上に「LOUD」が表示されます。
- チューナー選択時は低音のみ強調した音質になります。

プリアウトの設定 [PREOUT]

<input checked="" type="checkbox"/> REAR	リア出力モードになります。プリアウト端子がリア出力になります。
<input type="checkbox"/> NF	ノンフェーディング出力モードになります。プリアウト端子がノンフェーディング出力になります。

- ノンフェーディング出力端子が独立しているセンターユニットに接続している場合は、設定キーは表示されません。

位相の設定 [PHASE]

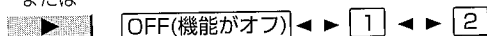
<input checked="" type="checkbox"/> NOR	ノーマル出力モードになります。ノンフェーディング出力の位相が正相になります。
<input type="checkbox"/> REV	リバース出力モードになります。ノンフェーディング出力の位相が逆相になります。

- Z929、Z919、MJ919 およびMJ909接続時でプリアウトの設定が「NF」の場合に設定キーが表示されます。

アンプコントロールの設定 [AMP CTRL]

タッチするたびに以下のように切り替わります。

または



- MZ929、Z929、M929、Z919、MZ919、MJ919、M919およびMJ909接続時に設定キーが表示されます。

フロントハイパスフィルターの設定 [HP-F]

タッチするたびに周波数が低くなります。 タッチするたびに周波数が高くなります。

リアハイパスフィルターの設定 [HP-R]

タッチするたびに周波数が低くなります。 タッチするたびに周波数が高くなります。

- A707接続時は、ハイパスフィルター周波数をOFF (HPFオフ)、40Hz、60Hz、80Hz、100Hz、120Hz、150Hz、180Hz、220Hz から選択することができます。センターユニットと接続している場合の切り替え周波数は、センターユニットの取扱説明書をご覧ください。

ノンフェーディングレベルの設定 [NF-LV]

タッチするたびにノンフェーディング出力レベルが小さくなります。 タッチするたびにノンフェーディング出力レベルが大きくなります。

- 「プリアウトの設定」で「REAR」を選択している場合は、設定キーは表示されません。

ノンフェーディング・ローパスフィルターの設定 [NF-LP]

タッチするたびに周波数が低くなります。 タッチするたびに周波数が高くなります。

- 「プリアウトの設定」で「REAR」を選択している場合は、表示されません。

オーディオ設定画面-1への切り替え


画面右下の にタッチするとオーディオ設定画面-1に戻ります。

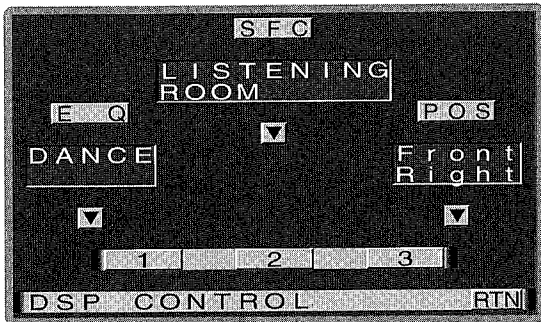
オーディオ設定画面の終了

RTN タッチするとソースセレクト画面に戻ります。

DSPコントロール

▶ DSPコントロール画面の表示

ソースセレクト画面の  にタッチします。【← 8ページ】




DSPコントロール画面

サウンドフィールドコントロール画面への切り替え

SFC タッチするとサウンドフィールド(SFC)コントロール画面に切り替わります。【← 20ページ】

サウンドフィールドモードの選択

サウンドフィールド(SFC)モード表示下の  にタッチするたびにサウンドフィールドモードが切り替わります。

イコライザーコントロール画面への切り替え

E Q タッチするとイコライザーコントロール画面に切り替わります。【← 21ページ】


イコライザーモードの選択

イコライザーモード表示下の  にタッチするたびにイコライザーカーブが切り替わります。



ポジションコントロール画面への切り替え

POS タッチするとポジションコントロール画面に切り替わります。【← 20ページ】

ポジションの選択

ポジションモード表示下の  にタッチするたびにポジションが切り替わります。

ユーザー設定のメモリー

 
1 ~ **3** メモリーしたいNo.キーに2秒以上タッチし続けると、現在のDSP設定がタッチした番号にメモリーされます。

ユーザー設定の呼び出し

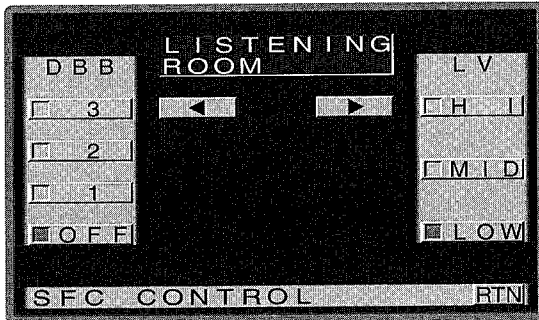
1 ~ **3** No.キーにタッチすると、タッチした番号にメモリーされているDSP設定が呼び出されます。

DSPコントロール画面の終了

RTN タッチするとソースセレクト画面に戻ります。

- 各DSPの機能については接続しているセンターユニットやDSPユニットの取扱説明書をご覧ください。
- DSP効果を正しく得るため、バランスやフェダーの設定はセンターにしてください。

DSPコントロール (続き)



SFCコントロール画面

サウンドフィールドモードの選択

◀ タッチするたびにサウンドフィールド(SFC)モードが切り替わります。
▶

DSPバスブーストレベルの調整 [DBB]

3	ブーストする帯域が広くなります。
2	▲
1	ブーストする帯域が狭くなります。
OFF	バスブーストを解除します。

● サウンドフィールドモードで「BYPASS」を選択している場合は、調整できません。

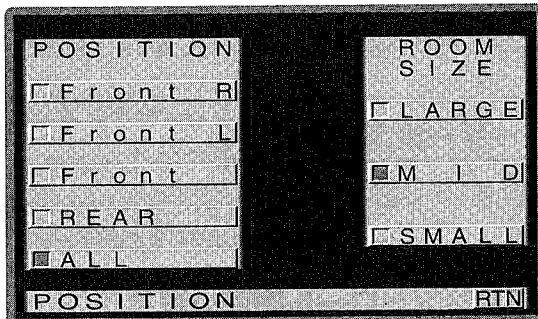
サウンドフィールドレベルの調整 [LV]

H I	DSP効果が大きくなります。
M I D	▲
L O W	DSP効果が小さくなります。

● サウンドフィールドモードで「BYPASS」を選択している場合は、調整できません。

サウンドフィールドコントロール画面の終了

RTN タッチするとDSPコントロール画面に戻ります。



ポジションコントロール画面

ポジションの選択 [POSITION]

Front R	音場の中心が前部座席右になります。
Front L	音場の中心が前部座席左になります。
Front	音場の中心が前部座席になります。
REAR	音場の中心が後部座席になります。
ALL	音場の中心が車室中央になります。

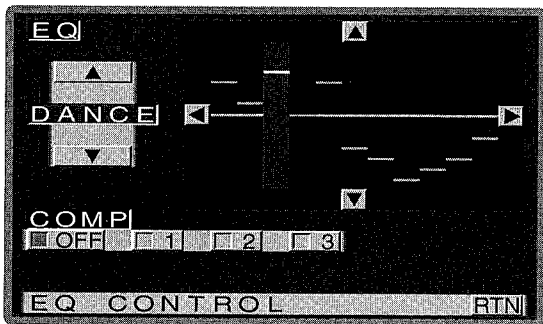
ルームサイズを選択 [ROOM SIZE]

LARGE	1BOXやRV車に合わせた設定になります。
M I D	セダン車に合わせた設定になります。
S M A L L	コンパクト車に合わせた設定になります。

● ポジションの選択を「ALL」にしている場合は、操作できません。

ポジションコントロール画面の終了

RTN タッチするとDSPコントロール画面に戻ります。



イコライザーコントロール画面

イコライザーモードの選択[EQ]

- ▲ タッチするたびにイコライザーカーブが切り替わります。
- ▼

イコライザーの調整

- ◀▶ タッチするたびに調整周波数が低くなります。
 - ▶▶ タッチするたびに調整周波数が高くなります。
 - ▲▼ タッチするたびにレベルが大きくなります。
 - ▼▲ タッチするたびにレベルが小さくなります。
- 調整を行える周波数は接続しているDSPユニットにより異なります。また、調整周波数が11バンドより少ない場合は、画面のバンド表示で動作しないところがあります。

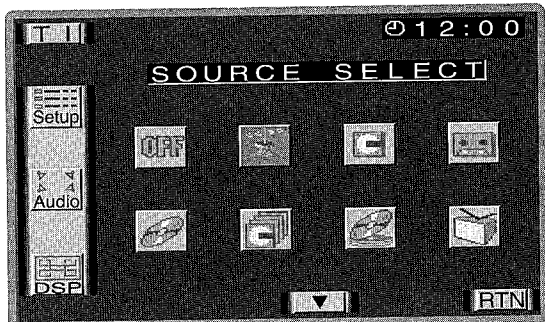
コンプレッションレベルの調整 [COMP]

3	ダイナミックレンジの圧縮率が大きくなります。
2	▲
1	▼
1	ダイナミックレンジの圧縮率が小さくなります。
OFF	コンプレッションを解除します。

イコライザーコントロール画面の終了

- RTN タッチするとDSPコントロール画面に戻ります。

ソースセレクト画面の操作



ソースセレクト画面

オーディオソースの選択



各【オーディオソースマーク】にタッチするとタッチしたオーディオコントロール画面に切り替わります。



表示可能なコントロール画面は下記を参照してください。

オーディオソースリストの切り替え

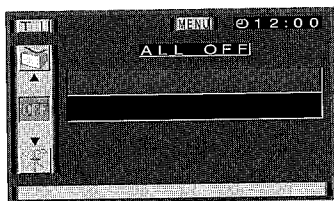
- 接続しているオーディオソースが9ソース以上の場合は にタッチするとオーディオソースリストが切り替わります。
- オーディオソースリストを戻すときは にタッチします。

ソースコントロール画面への切り替え



タッチすると現在選択されているオーディオコントロール画面に切り替わります。

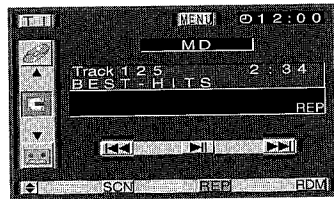
ソースコントロール画面



ALL OFF
【機能の一時停止状態】



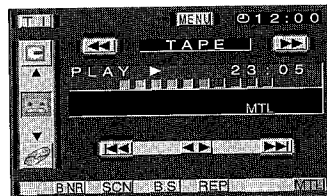
FM/AMチューナー
【26~27ページ】



MDプレーヤー
【30~31ページ】



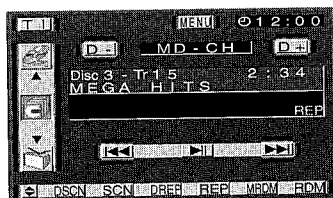
CDプレーヤー
【28~29ページ】



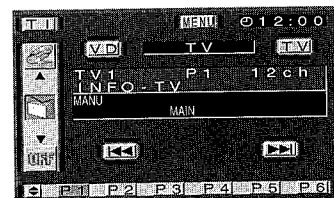
カセットプレーヤー
【32~33ページ】



CDチェンジャー
【34~36ページ】

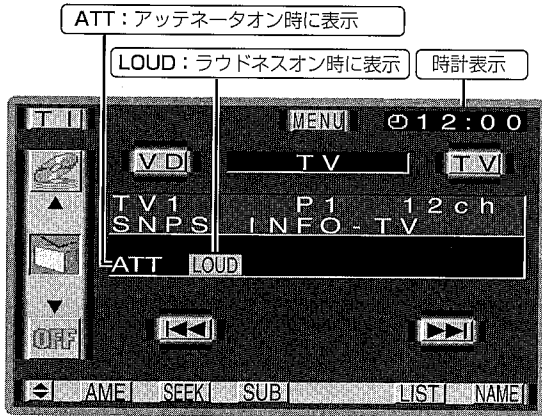
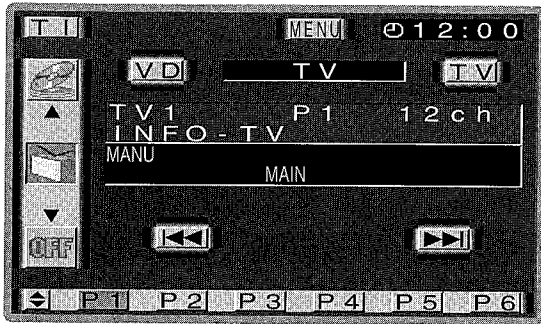


MDチェンジャー
【34~36ページ】



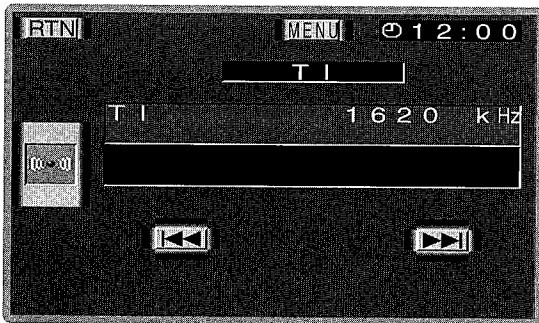
TVチューナー
【24~25ページ】

ソースコントロール画面の共通操作



- 『ATT』と『LOUD』表示はBUSセンターユニットやA707を接続時に表示可能になります。

交通情報コントロール



交通情報コントロール画面

オーディオソースの切り替え

ソースコントロール画面を切り替える



▲側の【オーディオソースマーク】にタッチすると前のオーディオソースに切り替わります。



▼側の【オーディオソースマーク】にタッチすると次のオーディオソースに切り替わります。

交通情報コントロール画面への切り替え

交通情報局を受信する



タッチすると交通情報コントロール画面に切り替わります。



A707やBUSセンターユニットを接続していない場合は「T I」キーは表示されません。

ソースセレクト画面への切り替え



タッチするとソースセレクト画面に切り替わります。

操作キーの切り替え

操作したいキーを切り替える



タッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。



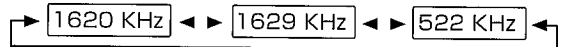
テーププレーヤーコントロール画面では「◇」キーの表示はありません。

交通情報局の選局

交通情報局を切り替える



タッチすることにより受信周波数が下記のように切り替わります。



交通情報受信を止める

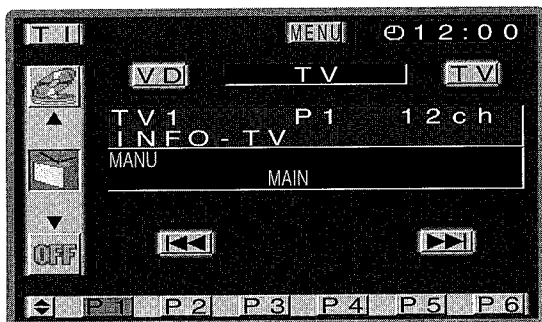


タッチすると交通情報局に切り替える前のオーディオソースのコントロール画面に戻ります。


TVチューナーコントロール

▶TVチューナーコントロール画面の表示

ソースセレクト画面【▶22ページ】または、各ソースコントロール画面の  にタッチします。



TVチューナーコントロール画面

 タッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。



TVプリセットバンド表示

プリセットNo.表示

チャンネルNo.表示



ステレオ放送受信時に表示

MAIN: 主音声選択時に表示
SUB: 副音声選択時に表示

AUTO1: オート選局モード1選択時に表示
AUTO2: オート選局モード2選択時に表示
MANU: マニュアル選局モード選択時に表示

ステーションネーム(SNPS)表示

ビデオ入力の切り替え

ビデオに切り替える

VD タッチするとビデオ入力に切り替わります。

! ビデオ入力に切り替えると、[◀◀] や [▶▶]、[P1] ~ [P6] などTVチューナーを操作するキーは表示されません。

TVバンドの切り替え


TVプリセットバンドを切り替える


TV タッチするたびにTVバンド1と2に切り替わります。

選局


チャンネルを選ぶ


● オート選局モード 1 のとき

 タッチするとチャンネルの高いほうの受信状態の良いチャンネルを自動的に探します。


 タッチするとチャンネルの低いほうの受信状態の良いチャンネルを自動的に探します。


● オート選局モード 2 のとき

 タッチするたびにプリセットNo.の大きいほうへ切り替わります。

 タッチするたびにプリセットNo.の小さいほうへ切り替わります。



● マニュアル選局モードのとき

 タッチするたびに1チャンネルつチャンネルが高くなります。

 タッチするたびに1チャンネルずつチャンネルが低くなります。

マニュアルメモリー

好みのチャンネルをメモリーする

  メモリーしたい番号のキーに2秒以上タッチし続けると、現在受信中のチャンネルがタッチした番号にメモリーされます。

メモリーの呼び出し

メモリーしたチャンネルを呼び出す

P1 ~ **P6** タッチすると、タッチした番号にメモリーされているチャンネルが呼び出されます。

オートメモリー

受信状態の良いチャンネルを自動的にメモリーする

1 オートメモリースタนด์バイモードにします

[AME] タッチするとオートメモリースタนด์バイモードになります。
(**[◀▶]** が点滅します。)

2 オートメモリーを開始します

[◀▶] 点滅中にタッチするとオートメモリーを開始します。
または
[▶▶] 現在選択しているプリセットバンドに最大6局まで自動的にチャンネルをメモリーします。

- 6局をメモリーするか、チャンネルを一周して受信状態の良いチャンネルをメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーしたチャンネルを受信します。
- オートメモリー中に **[AME]** にタッチすると、オートメモリー動作は解除されます。

選局モードの設定

選局方法を選ぶ

[SEEK] タッチするたびに選局モードが下記のように切り替わります。【動作は●24ページ「選局」】



メイン-サブ音声の切り替え

音声多重放送の主/副音声を切り替える

[SUB] タッチするたびに音声モードが以下のように切り替わります。

主音声 ◀▶ 副音声

- 音声多重放送を受信している場合に操作できます。

TVリスト画面への切り替え

メモリーされているチャンネルのリストを見る

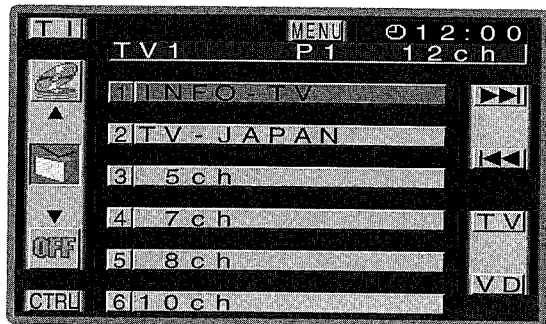
[LIST] タッチするとTVリスト画面に切り替わります。

ネームセット画面への切り替え

現在受信している放送局に名前をつける(SNPS)

[NAME] タッチするとネームセット画面に切り替わります。【●37ページ】

- パーキングブレーキを引かないと、ネームセット画面には切り替わりません。



TVリスト画面

リストの呼び出し

リストからチャンネルを選択する

[1] リストにタッチすると、タッチしたリストの放送局(チャンネル)に切り替わります。
[6]

リストの切り替え

リストを切り替える

[TV] タッチするたびにTVプリセットバンド1と2のリストに切り替わります。

選局

チャンネルを選ぶ

[▶▶] ※コントロール画面と同様に操作します。
[◀▶]

マニュアルメモリー

好みのチャンネルをメモリーする

[1] リストに2秒以上タッチし続けると、現在受信中のチャンネルがタッチしたリストにメモリーされます。
[6]

ビデオ入力の切り替え

ビデオに切り替える

[VD] タッチするとビデオ入力に切り替わります。


TVリスト画面の終了

コントロール画面に戻る

[CTRL] タッチするとコントロール画面に戻ります。


FM/AMチューナーコントロール

▶FM/AMチューナーコントロール画面の表示

ソースセレクト画面【▶22ページ】または、各ソースコントロール画面の  にタッチします。



FM/AMチューナーコントロール画面

 タッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。



FM/AMプリセットバンド表示

プリセットNo.表示

周波数表示

FM1 P1 82.5 MHz
NHK - TOKYO
AUTO ST

ステレオ放送受信時に表示

A707接続時

AUTO1：オート選局モード1選択時に表示
AUTO2：オート選局モード2選択時に表示
MANU：マニュアル選局モード選択時に表示

センターユニット接続時

AUTO：オート選局モード1選択時に表示
MANU：マニュアル選局モード選択時に表示

ステーションネーム(SNPS)表示

AMバンドの切り替え

AM放送に切り替える

AM タッチするたびにAMバンド1、2に切り替わります。

[A707・タッチするとAMバンドに切り替わる]

FMバンドの切り替え

FM放送に切り替える

FM タッチするたびにFMバンド1、2に切り替わります。

[A707・タッチするたびにFMバンド1、2、3に切り替わる]

選局

放送局を選ぶ

● オート選局モード1のとき



1秒以上タッチし続けると、周波数の高い方の受信状態の良い放送局を自動的に探します。

[A707・タッチする]



1秒以上タッチし続けると、周波数の低い方の受信状態の良い放送局を自動的に探します。

[A707・タッチする]

● オート選局モード2のとき(A707接続時のみ)



タッチするたびにプリセットNo.の大きい方へ切り替わります。



タッチするたびにプリセットNo.の小さい方へ切り替わります。

● マニュアル選局モードのとき



タッチするたびに1ステップずつ周波数が高くなります。



タッチするたびに1ステップずつ周波数が低くなります。

マニュアルメモリー

好みの放送局をメモリーする



メモリーしたい番号のキーに2秒以上タッチし続けると、現在受信中の放送局がタッチした番号にメモリーされます。

メモリーの呼び出し

メモリーした放送局を呼び出す

P1~**P6** タッチすると、タッチした番号にメモリーされている放送局が呼び出されます。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的にメモリーする

1 オートメモリースタンスパイモードにします

AME タッチするとオートメモリースタンスパイモードになります。
(**◀◀**、**▶▶** が点滅します。)

2 オートメモリーを開始します

◀◀ 点滅中にタッチするとオートメモリーを開始します。
または
▶▶ 現在選択しているプリセットバンドに最大6局まで自動的にメモリーします。

- 6局をメモリーするか、周波数を一周して受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。
- オートメモリー中に [AME] にタッチすると、オートメモリー動作は解除されます。

選局モードの設定 (A707接続時のみ)

選局方法を選ぶ

SEEK タッチするたびに選局モードが下記のように切り替わります。【動作は●26ページ「選局」】



モノラル音声の切り替え

FM放送を強制的にモノラル受信する

MONO タッチするたびに、モノラル受信がオン/オフします。

FM/AMリスト画面への切り替え

メモリーされている放送局のリストを見る

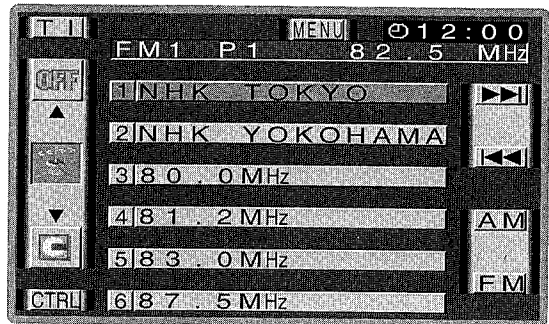
LIST タッチするとFM/AMリスト画面に切り替わります。

ネームセット画面への切り替え

現在受信している放送局に名前をつける(SNPS)

NAME タッチするとネームセット画面に切り替わります。【●37ページ】

- パーキングブレーキを引かないと、ネームセット画面には切り替わりません。



FM/AMリスト画面

リストの呼び出し

リストから放送局を選択する

1 リストにタッチすると、タッチしたリストの放送局(周波数)に切り替わります。

6

リストの切り替え

リストを切り替える

● AMバンドリストの表示

AM タッチするたびにAMプリセットバンド1、2のリストに切り替わります。
【A707 ● タッチするとAMバンドのリストに切り替わる】

● FMバンドリストの表示

FM タッチするたびにFMプリセットバンド1、2のリストに切り替わります。
【A707 ● タッチするたびにFMバンド1、2、3のリストに切り替わる】

選局

放送局を選ぶ

▶▶ ※コントロール画面と同様に操作します。

◀◀

マニュアルメモリー

好みの放送局をメモリーする



1 リストに2秒以上タッチし続けると、現在受信中の放送局がタッチしたリストにメモリーされます。

6

FM/AMリスト画面の終了

コントロール画面に戻る

CTRL タッチするとコントロール画面に戻ります。


CDプレーヤーコントロール

▶CDプレーヤーコントロール画面の表示

ソースセレクト画面【▶22ページ】または、各ソースコントロール画面の  にタッチします。



CDプレーヤーコントロール画面

 タッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。



トラックNo./ファイルNo.表示

演奏時間表示



REP: トラックリピートプレイがオン時に表示
SCN: トラックスキャンプレイがオン時に表示
RDM: ランダムプレイがオン時に表示


ディスクネーム/テキスト表示

MP3ファイル再生時の注意


- MP3の機能や注意事項についてはMP3ファイルコントロール対応のセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。
- 本機から操作できるのは、ポーズ、ファイルサーチ、ファイルリピートプレイ、ランダムプレイのみになります。それ以外の操作はセンターユニットで行ってください。
- ファイルネームやフォルダーネームは表示できません。
- ファイルNo.が100以上ある場合は下2桁のみの表示になります。

ポーズ

演奏を一時停止する

 タッチするとCDプレイ(MP3:ファイルプレイ)が一時停止します。

一時停止を解除する時は


 タッチするとCDプレイ(MP3:ファイルプレイ)になります。

●MP3ファイルをポーズ中はファイルサーチなどのMP3の操作はできません。


トラックサーチ(MP3:ファイルサーチ)

曲を順に選ぶ

●先の曲を選ぶ


 タッチするたびに先の曲へトラックサーチ(MP3:ファイルサーチ)します。

●手前の曲を選ぶ


 1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに手前の曲へトラックサーチ(MP3:ファイルサーチ)します。

早送り/早戻し

●早送りする

 タッチし続けている間、曲を早送りします。

●早戻しする

 タッチし続けている間、曲を早戻しします。

●MP3ファイルの早送り、早戻しはできません。

トラックスキャンプレイ

聴きたい曲を探す

SCN タッチするとトラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら

SCN タッチすると、トラックスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。



●MP3ファイル再生時に本キーが表示されますが、操作はできません。

トラックリピートプレイ (MP3:ファイルリピートプレイ)

同じ曲を繰り返し聴く

REP タッチするたびにトラックリピート(MP3:ファイルリピート)がオン/オフします。オンにすると聴いている曲を繰り返し演奏します。

ランダムプレイ

聴いているディスク(MP3:フォルダ)から自動的に曲を選ばせて演奏する

RDM タッチするたびにランダムプレイがオン/オフします。オンにすると自動的に曲を選んで演奏します。

他の曲に替えたい時は

▶▶ タッチすると他の曲を選びます。

CDテキスト表示の切り替え

ディスクネームとCDテキスト表示を切り替える

TITLE タッチするたびに表示が以下のように切り替わります。



- テキストが記録されていないCDは、「NO TEXT」と表示されます。
- ディスクネーム(DNPS)が登録されていないCDは、「NO NAME」と表示されます。

CDテキストのスクロール表示

CDテキストをスクロールして確認する

● スクロールモードが「AUTO」のとき

SCRL タッチすると、一旦テキストの最初16文字を表示し、再びスクロール表示に戻ります。

● スクロールモードが「MANU」のとき

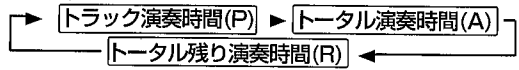
SCRL タッチするとテキストの全文字を1回スクロール表示します。

- スクロールモードはシステム設定画面で変更できます。
- 【← 13ページ】

演奏表示の切り替え

演奏時間表示を切り替える

TIME タッチするたびに表示が以下のように切り替わります。



- MP3ファイル再生中はトラック演奏時間のみ表示され、演奏時間の切り替えはできません。

ネームセット画面への切り替え


現在演奏しているCDに名前をつける(DNPS)

NAME タッチするとネームセット画面に切り替わります。【← 37ページ】

- パーキングブレーキを引かないと、ネームセット画面には切り替わりません。
- MP3が収録されているディスクにネームセットを行うと、MP3が収録されている全てのディスクに対して同じネームが表示されます。


MDプレーヤーコントロール

▶ MDプレーヤーコントロール画面の表示

ソースセレクト画面【▶ 22ページ】または、各ソースコントロール画面の  にタッチします。



MDプレーヤーコントロール画面

 タッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。



トラックNo.表示

演奏時間表示



REP: トラックリピートプレイがオン時に表示
SCN: トラックスキャンプレイがオン時に表示
RDM: ランダムプレイがオン時に表示


タイトル表示

ポーズ

演奏を一時停止する

 タッチするとMDプレイが一時停止します。


一時停止を解除する時は

 タッチするとMDプレイになります。


トラックサーチ

曲を順に選ぶ

● 先の曲を選ぶ


 タッチするたびに先の曲へトラックサーチします。

● 手前の曲を選ぶ


 1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに手前の曲へトラックサーチします。

早送り/早戻し

● 早送りする

 タッチし続けている間、曲を早送りします。

● 早戻しする

 タッチし続けている間、曲を早戻しします。

トラックスキャンプレイ

聴きたい曲を探す

SCN タッチするとトラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら

SCN タッチすると、トラックスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。

または

トラックリピートプレイ

同じ曲を繰り返し聴く


REP タッチするたびにトラックリピートがオン/オフします。オンにすると聴いている曲を繰り返し演奏します。

ランダムプレイ

聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する

RDM タッチするたびにランダムプレイがオン/オフします。オンにすると自動的に曲を選んで演奏します。

他の曲に替えたい時は

 タッチすると他の曲を選びます。

MDLP再生時の注意

演奏時間が100分を越えた場合は、下2桁のみの表示になります。

タイトル表示の切り替え

タイトル表示を切り替える

TITLE タッチするたびに表示が以下のように切り替わります。

ディスクタイトル ◀ ▶ トラックタイトル

- タイトルが記録されていないMDは、「NO TITLE」と表示されます。

MDタイトルのスクロール表示

MDタイトルをスクロールして確認する

● スクロールモードが「AUTO」のとき

SCRL タッチすると、一旦タイトルの最初16文字を表示し、再びスクロール表示に戻ります。


● スクロールモードが「MANU」のとき

SCRL タッチするとタイトルの全文字を1回スクロール表示します。

- スクロールモードはシステム設定画面で変更できます。
- [← 13ページ]

テーププレーヤーコントロール

▶ テーププレーヤーコントロール画面の表示


ソースセレクト画面【▶ 22ページ】または、各ソースコントロール画面の  にタッチします。



テーププレーヤーコントロール画面

走行方向の切り替え


テープのA面/B面を切り替える

 タッチするたびにテープの走行をフォワードプレイとリバースプレイに切り替えます。


選曲

曲を選ぶ：DPSS-ダイレクトプログラムサーチシステム

● 先の曲を選ぶ

 タッチするたびに飛び越す曲数（最大9曲まで）が表示され、指定した曲の先頭へ早送りし自動的に演奏が始まります。

● 手前の曲を選ぶ


 1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに飛び越す曲数（最大9曲まで）が表示され、指定した曲の先頭へ巻戻り自動的に演奏が始まります。

途中で解除したいときは


 タッチすると、通常のテーププレイに戻ります。

早送り/巻戻し


● 早送りする

 タッチするとテープを早送りします。

● 巻戻しする

 タッチするとテープを巻戻しします。

早送り/巻戻しを止める時は

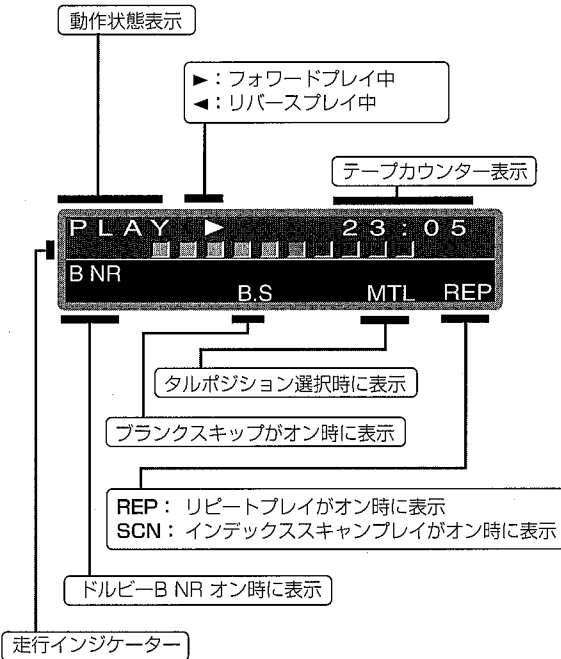
 タッチすると通常のテーププレイに戻ります。

ドルビー-B NRの切り替え

ドルビー-B NRを使って録音されたテープを聴く

B NR タッチするたびにドルビー-NRシステムが下記のように切り替わります。

ドルビー-B NR オン ◀▶ **ドルビー-NR オフ**



インデックススキャンプレイ

聴きたい曲を探す

SCN タッチするとインデックススキャンプレイがオンになり、曲の先頭部分を約10秒間演奏すると、次の曲の先頭まで早送りして各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら

SCN タッチすると、インデックススキャンプレイが解除
または
になり通常のプレイに戻ります。



ブランクスキップ

無録音部分をスキップする

B.S タッチするたびにブランクスキップをオン/オフ
します。オンにすると、10秒以上無録音部分
があると自動的に次の曲まで早送りされます。

リピートプレイ

同じ曲を繰り返し聴く

REP タッチするたびにリピートプレイがオン/オフ
します。オンにすると、聴いている曲を繰り返し演
奏します。

テープセクター


メタル/クロムテープを聴く

MTL タッチするたびにメタルポジションをオン (メタル-TYPE IV/クロム-TYPE II) /オフ (ノーマル-TYPE I) します。


- DPSS、リピート、インデックススキャンは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行います。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープや曲の途中で録音レベルが非常に小さい部分が4秒以上続くテープでは曲間を検出できなかったり、曲の途中で「先頭」と判断することがあります。
- ブランクスキップは無録音部分の雑音が非常に大きいと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをオフにしてください。通常お買い上げ時はオンの設定になっています。

ディスクチェンジャーコントロール

▶CDチェンジャーコントロール画面の表示 <CD-CH>


ソースセレクト画面【▶ 22ページ】または、各ソースコントロール画面の  にタッチします。

▶MDチェンジャーコントロール画面の表示 <MD-CH>

ソースセレクト画面【▶ 22ページ】または、各ソースコントロール画面の  にタッチします。



ディスクチェンジャーコントロール画面

 タッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。



ディスクNo.表示

トラックNo.表示

演奏時間表示



REP: トラックリピートプレイがオン時に表示
DREP: ディスクリピートプレイがオン時に表示
SCN: トラックスキャンプレイがオン時に表示
DSCN: ディスクスキャンプレイがオン時に表示
RDM: ランダムプレイがオン時に表示
MRDM: マガジンランダムプレイがオン時に表示

ディスクネーム(DNPS)/テキスト/タイトル表示

3+1MDチェンジャー再生時の注意(MJ919)


4枚のMDがセットされている場合は、以下の操作はできません。

- ディスクサーチやディスクリストからのディスク選択
- ディスクリピートプレイ
- ディスクスキャンプレイ
- ディスクランダムプレイ


これらの操作を行いたいときは、4枚目のMDを取り出してください。

ポーズ

演奏を一時停止する

 タッチするとディスクプレイが一時停止します。


一時停止を解除する時は

 タッチするとディスクプレイになります。


トラックサーチ

曲を順に選ぶ

● 先の曲を選ぶ


 タッチするたびに先の曲へトラックサーチします。

● 手前の曲を選ぶ


 1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに手前の曲へトラックサーチします。

早送り/早戻し

● 早送りする

 タッチし続けている間、曲を早送りします。


● 早戻しする

 タッチし続けている間、曲を早戻しします。


ディスクの切り替え

ディスクを選ぶ

● 先のディスクを選ぶ

 タッチするたびにディスクNo.の大きいほうへサーチします。

● 手前のディスクを選ぶ

 タッチするたびにディスクNo.の小さいほうへサーチします。

ディスクスキャンプレイ

聴きたいディスクを探す

DSCN タッチするとディスクスキャンプレイがオンになり、ディスクマガジンにセットされているディスクの先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたいディスクが見つかったら

DSCN タッチするとディスクスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。

または


トラックスキャンプレイ

聴きたい曲を探す

SON タッチするとトラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら

SON タッチすると、トラックスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。



ディスクリピートプレイ

同じディスクを繰り返し聴く

DREP タッチするたびにディスクリピートがオン/オフします。オンにすると、聴いているディスクを繰り返し演奏します。

トラックリピートプレイ

同じ曲を繰り返し聴く

REP タッチするたびにトラックリピートがオン/オフします。オンにすると聴いている曲を繰り返し演奏します。

マガジンランダムプレイ

マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する

MRDM タッチするたびにマガジンランダムプレイがオン/オフします。オンにすると、ディスクマガジンにセットされているディスクから自動的に曲を選んで演奏します。

他の曲に替えたい時は

タッチすると他の曲を選びます。

ランダムプレイ

聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する

RDM タッチするたびにランダムプレイがオン/オフします。オンにすると自動的に曲を選んで演奏します。

他の曲に替えたい時は

タッチすると他の曲を選びます。

テキスト/タイトル表示の切り替え

ディスクネームやテキスト/タイトル表示を切り替える

TITLE タッチするたびに表示が以下のように切り替わります。

CDチェンジャー演奏時



- テキストが記録されていないCDは、「NO TEXT」と表示されます。
- ディスクネーム(DNPS)が登録されていないCDは、「NO NAME」と表示されます。

MDチェンジャー演奏時



- タイトルが記録されていないMDは、「NO TITLE」と表示されます。

MDタイトル/CDテキストのスクロール表示

MDタイトルやCDテキストをスクロールして確認する

● スクロールモードが「AUTO」のとき

SCRL タッチすると、一旦タイトル/テキストの最初16文字を表示し、再びスクロール表示に戻ります。

● スクロールモードが「MANU」のとき

SCRL タッチするとタイトル/テキストの全文字を1回スクロール表示します。

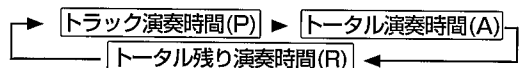
- スクロールモードはシステム設定画面で変更できます。

● [← 13ページ]

CD演奏表示の切り替え

CDの演奏時間表示を切り替える

TIME タッチするたびに表示が以下のように切り替わります。



ディスクリスト画面への切り替え

ディスクのリストを見る

LIST タッチするとディスクリスト画面に切り替わります。[← 36ページ]

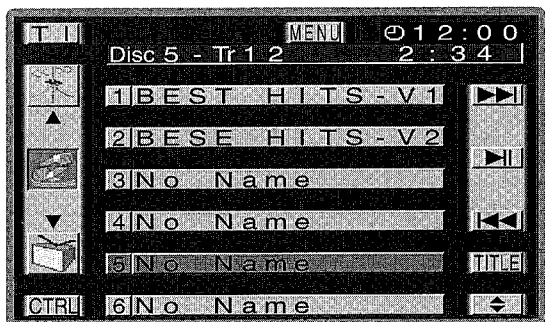
ネームセット画面への切り替え

現在演奏しているCDに名前をつける(DNPS)

NAME タッチするとネームセット画面に切り替わります。[← 37ページ]

- MDチェンジャー演奏時は、NAME キーの表示はありません。
- パーキングブレーキを引かないと、ネームセット画面には切り替わりません。

ディスクチェンジャーコントロール (続き)



ディスクリスト画面

リストの切り替え

ディスクNo.7~10のリストに切り替える

タッチするたびにディスクNo.1~No.6のリストとNo.7以降のリストが切り替わります。

リストの呼び出し

リストからディスクを選択する

1) リストにタッチすると、そのリストのディスクに切り替わります。

10)

CDリスト表示の切り替え

表示をディスクネームとディスクテキストに切り替える

TITLE タッチするたびにリストの表示がディスクネーム(DNPS)とディスクテキストに切り替わります。

● MDチェンジャー選択時は、TITLE の表示はありません。

ポーズ

演奏を一時停止する

▶▶▶ タッチすると、ディスプレイが一時停止します。

一時停止を解除する時は

▶▶▶ タッチすると、ディスプレイになります。

トラックサーチ

曲を順に選ぶ

● 先の曲を選ぶ

▶▶▶ タッチするたびに先の曲へトラックサーチします。

● 手前の曲を選ぶ

◀◀◀ 1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに手前の曲へトラックサーチします。

早送り/早戻し

● 早送りする

▶▶▶ タッチし続けている間、曲を早送りします。

● 早戻しする

◀◀◀ タッチし続けている間、曲を早戻しします。

ディスクリスト画面の終了

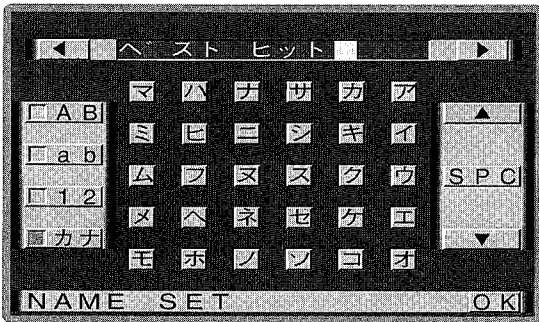
コントロール画面に戻る

CTRL タッチするとコントロール画面に戻ります。

ネームセット

▶ネームセット画面の表示

TVチューナー、FM/AMチューナー、CDプレーヤー、ディスクチェンジャーコントロール画面の **NAME** にタッチします。



ネームセット画面

ネーム登録の手順

1 文字を入力したい位置にカーソルを移動します

▶ タッチするたびに入力カーソルが右に移動します。

◀ タッチするたびに入力カーソルが左に移動します。

2 文字種を選択します

■ **A B** タッチすると英大文字に切り替わります。

■ **a b** タッチすると英小文字に切り替わります。

■ **1 2** タッチすると数字/記号に切り替わります。

■ **カナ** タッチするとカタカナ文字に切り替わります。

3 文字リストを切り替えます

▲ タッチすると文字リストが切り替わります。

または

▼

- 文字リストが一画面に納まる場合は、▲ / ▼ キーは表示されません。

4 文字を入力します

表示している【文字】にタッチすると文字が入力されます。

- 文字は12桁まで入力できます。

スペースの入力

S P C タッチすると空白が入力されます。

5 ネームを登録します

OK タッチするとネームを登録して、ネームセット画面へ切り替える前のオーディオコントロール画面に戻ります。

- 登録中にパーキングブレーキを解除したり、放送局をかえる、ディスクをイジェクト、またはディスクが入れ替わった場合も入力途中の文字を登録し、ネームセット画面は終了します。
- ステーションネーム (SNPS) はFM/AM、TVの各30局まで登録できます。31局目の登録を行うと1番目に登録したネームが消去されます。
- ディスクネーム (DNPS) はCDプレーヤー/CDチェンジャー合わせて100枚まで登録できます
- 本機で登録したネームはセンターユニットには表示されません。また、センターユニットで登録したネームは本機には表示されません。

故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線の間違いで故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、次の項目をチェックしてください。

電源が入らない

ヒューズが切れている。

コード類がショートしていないことを確認して、所定容量のヒューズと交換してください。

モニターがオープンしない

パーキングブレーキ検出コードが配線されていない。

取付説明書の「接続のしかた」を見て、正しく接続してください。

モニターはオープンするが、画面が表示されない

本機背面の“M-S”スイッチが“S”に設定されている。

取付説明書の「接続のしかた」を見て、“M-S”スイッチを“M”に設定してください。

テレビ/ビデオの映像が映らない

パーキングブレーキをセットしていない。

安全のため、パーキングブレーキをセットしないとモニターのオープンやテレビ、ビデオの映像は映りません。

テレビの映りが悪い

- アンテナが配線されていない。
- 電波状態が悪い場所で受信している。
- ナビゲーションシステムなどのコンピューター機器からの影響を受けている。

- TVアンテナを正しく接続してください。
- 電波状態の良い場所に移動して受信してみてください。
- コンピューター機器を本機からできるだけ離して設置してください。

ビデオ入力(AV IN)端子に接続したナビゲーションユニットの映像が映らない

セットアップ画面のAV入力設定が正しくない。

「システムの設定」の「AV入力モード」の設定を「NAV」にしてください。【➡ 12ページ】

画面が暗い

気温が低い場所に放置していた。

気温が低い場合は、電源をオンにしたときに液晶パネルの性質上、通常より画面が暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常明るさに戻ります。

車両のライトオンで画面が暗くならない

- 夜画面の設定が「OFF」になっている。
- イルミネーションコードが配線されていない。

- スクリーンコントロール画面の夜画面の設定を「ON」にしてください。【➡ 11ページ】
- 取付説明書の「接続のしかた」を見て、正しく接続してください。

カーFMラジオからテレビやビデオの音がでない/雑音が多い(内蔵FMトランスミッターがオンの場合)

- FMトランスミッターで聴きたいソースが選択されていない。
- カーFMラジオ側の受信周波数が合っていない。

- ソースセレクト画面で聴きたいソースマークを選択してください。【➡ 22ページ】
- カーFMラジオの受信周波数をFMトランスミッターの設定周波数に合わせてください。【➡ 14ページ】

FMラジオからFM放送の音がでない、または雑音が多い

FMトランスミッターがオンになっている。

FMトランスミッターをオフにするか、FMトランスミッターを聴きたい放送局に影響のない周波数に設定してください。【➡ 14ページ】

FM/AMラジオの受信感度が悪い、または雑音が入る

TVアンテナと車両のアンテナの距離が近い。

- できるだけ離して設置してください。
- 本機の電源をオフにしてください。

モニター画面に画素欠けや異常点灯がある

液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

故障ではありません。

- BUSオーディオシステムを接続している場合に、異常があると以下のエラーコードが表示されます。

BUS-E50: 本機背面の“M-S”スイッチが“M”に設定されている。

BUS-E11: DSPユニットが2台以上接続されている。

BUS-W02: 接続されているCDチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じNo.(1または2)になっている。

⇨1台のCDチェンジャーのNo.スイッチを“1”に設定し、もう1台を“2”に設定すれば正常に使用できます。

- その他のシステム状態表示については、接続している機器の取扱説明書をご覧ください。

なお、取扱説明書の表示と若干異なる場合があります。

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。
(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。**

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

モニター部

画面サイズ	7インチワイド 154.1mm(幅)×87.0mm(高さ)×177.0mm(対角)
表示方式	透過型TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス方式
使用光源(照明方式)	冷陰極管
画素数(V×H)	336,960個(480H×RGB×234V)
有効画素	99.99%
画素配列	RGBストライプ配列
スピーカー音声出力	1W(40mm×20mm1個)

TVチューナー部

受信チャンネル(VHF)	1~12ch
(UHF)	13~62ch
選局方式	PLL周波数シンセサイザー方式
復調方式	スプリットキャリア方式
アンテナ入力	4chダイバシティ(75Ω/ミニジャック3.5φ)
AV入力端子(RCAレ♂×1系統)	
外部映像入力レベル(RCAピン)	1Vp-p/75Ω
外部音声最大入力レベル(RCAピン)	1V/22kΩ
V入力端子(RCAレ♂×1系統)	
外部映像入力レベル(RCAピン)	1Vp-p/75Ω
AV出力端子(RCAレ♂×1系統)	
映像出力インピーダンス(RCAレ♂)	1Vp-p/75Ω
音声出力レベル(RCAレ♂)	500mV/1kΩ
RGB入力(アナログ)	0.7Vp-p/75Ω
FMトランスミッター出力周波数	87.5~89.9MHz(0.1MHz間隔で可変)

電源・その他

電源電圧	DC14.4V(11~16V)
接地方式	マイナスアース方式
最大消費電力	25W(通常動作時18W)
使用温度範囲	-10℃~+60℃
保存温度範囲	-20℃~+85℃

本体寸法・質量(重さ)

外形寸法(突起部含まず)	180mm(幅)×50mm(高)×191.5mm(奥行)
埋込寸法	178mm(幅)×50mm(高)×165mm(奥行)
質量	1820g

付属アンテナ

出力インピーダンス	75Ω/ミニジャック3.5φ
ケーブルの長さ	6m
外形寸法	190mm(幅)×28.1mm(高さ)×30mm(奥行)
アンテナエレメント全伸長	540mm
質量(重さ)	250g(本体1個 ケーブル含む)

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
※液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター(東京) 電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒534-0024 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間:9:00~18:00(土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、各営業所にご相談ください。